

【音楽科実践例】

鈴木 昭

1 単元 鑑賞 バレエ音楽「白鳥の湖」 チャイコフスキー作曲

～バレエ(踊り)とオーケストラ(音楽)のかかわりから場面を想像しよう～

- 2 目標 ・総合芸術であるバレエ音楽の特徴を捉え、踊りと身振り、舞台美術等と音楽とのかかわりから「白鳥の湖」のストーリーを知覚・感受することができる。
- ・タブレットを用いた主体的で探究的な学習活動を通して、より深く作品や作曲者について調べ、楽曲の理解や鑑賞に活かすことができる。

3 指導計画

- (1)タブレットを用いて、作曲者、登場人物の名前、作品のあらすじを調べ、特に自ら興味を持った内容を積極的に学習プリントに記録する。
- (2)どの文献に詳しく情報が載っていたか、話し合いや教え合いをして、協働的に学びを深める活動を行う。
- (3)電子黒板を使用して、DVD 鑑賞を行う。調べた内容と感想を照らし合わせてバレエ音楽の移り変わりや場面の変化をより深く味わう。
- (4)感想を発表する。

4 成果と課題

- 今年度夏休みに、音楽室に Wi-Fi が入り、タブレットを使用した授業に本格的に取り組めるようになったところだった。生徒も音楽の時間に、音楽室で自由に音楽作品について調べることができることを楽しんでいた。
- バレエ音楽「白鳥の湖」の登場人物やあらすじについて、詳しく教科書に載っていないため、タブレットでの調べ学習がとても場面の理解に役に立った。
- 第3幕や第4幕のクライマックスの場面を理解することができたため、バレエの世界を味わい、感動を味わうことができていた。
- △調べ学習に夢中になり、じっくり鑑賞する時間を取れなくなりそうだった。時間を前もって提示することや調べる内容の優先順位を提示することで改善できると思った。